

「アウト方式による休暇取得の促進」

中部管区警察局岐阜県情報通信部
関東管区警察局静岡県情報通信部

背景

- 警察情報通信職員は通常の勤務時間に加え、夜間や休日でも交代で宿直
- 宿直明けや連休中でも、休暇を遠慮する傾向
- 休みを取るよう周知されても、休暇の消化は伸び悩み

職員を休ませるナッジはないか

誰も帰ろうとしないなあ...

同僚に迷惑がかかるかなあ...

休暇申請に心理的ハードル

取組み(宿直明け)

宿直者は翌日の休暇取得をデフォルト化

アウト方式(勤務)する者のみ
報告様式に新設された該当欄にチェック

氏名	宿直明け休暇の取得
	<input type="checkbox"/> しない
	<input type="checkbox"/> しない

上司は、以下を勧奨して休暇取得を奨励
○アウト方式申告
○昨夜の対応状況
○健康状態(持病、顔色、声の張り等)
○年次休暇残日数
○当日の予定業務

睡眠不足だね。今日は帰って休みなさい。

深夜に事案対応しました。

取組み(年末年始)

フレームは3倍に拡張

交代で宿直 默认休暇 交代で宿直 默认休暇 交代で宿直

平成29年12月 平成30年1月

22(金) 23(土) 24(日) 25(月) 26(火) 27(水) 28(木) 29 30 31 1 2 3 4(木) 5(金) 6(土) 7(日) 8(祝) 9(火)

大掃除・仕事納め式をスライド

仕事始め式をスライド

連休期の既存予定表にデフォルト休暇機能を付加

ゴールデンウィークも概ね同様に実施

12/25(月) 午前	12/25(月) 午後	12/26(火) 午前	12/26(火) 午後	1/5(金) 午前	1/5(金) 午後
休暇	休暇	休暇	休暇	休暇	休暇
呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可
呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可
呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可
呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可	呼出可

休暇取得: 待機の場合(デフォルト)
出勤: 通常業務・当直等の場合

呼出可: 参集できる場合(デフォルト)
呼出不可: 旅行等、参集が難しい場合

職員は出勤日をワンクリックでアウト

休暇・出勤は全職員に見える化、休暇の調整も容易

ナッジ

フレーミング

before
休暇取得を管理して事業継続

after
出勤日を管理してWLB確保「出勤日管理施策」

休暇、連休の概念は法令・カレンダーのとおり

休暇は所与のもの
特定日は休暇取得が前提

現状維持バイアス

before
休暇の申請に心理的ハードル

after
デフォルト(休暇)からのアウト方式(勤務)にひと手間必要

単純測定効果

before
休暇制度は存在するが活用は低調

after
休暇取得有無の質問
それ自体が判断に影響

複雑な選択の体系化

before
申請前に休暇開始時刻と休暇時間数を決める必要

after
事前に休暇取得有無のみ意思表示
手間はワンクリック以下

同調圧力

before
休暇には同僚との調整と上司への申請が必要

after
書式内に記入欄が設定され、休暇は見える化、忖度は逆転

参考:リチャード・セイラー+キャス・サンステーン(2009)
「実践行動経済学〜健康、富、幸福への聡明な選択」、日経BP社

成果

休暇取得状況(B)を調査

事前申告内容(A)を調査

前年度の休暇取得状況(C)を調査

A=Bを確認、B/Cを算出

年間休暇取得は **2割増**

平均12.3日
↓
14.2日

岐阜県情報通信部の平成30年度休暇取得者(前年度同期比):

宿直明け	年末年始期	GW期
3倍弱に増 延べ37人→106人	12/28又は1/4では 6割増 19/49人→30/48人	連休拡大となる4平日いずれかでは 6割増 21/48人→33/47人

休暇取得のハードルが下がりました

明けの日は効率が悪くミスを連発していたのでこの取組は改善に大きく貢献している

人は合理的な行動をとらないのでこの取組はアリ!

明けは精神的肉体的に疲れているので制度が整うのは非常にありがたい

単純ながら発想されなかった施策一定の成果を出している良策である

日誌に記入欄があるのがよい

静岡県情報通信部 職員の声

協力体制がますます重要

仕事を振る側にも意識改革

更なる業務の合理化を

長距離通勤なので明けの日を休むより普通に1日休みたい

既に出勤しているので帰るのはもったいない

明けの度に取ると休暇が足りないから取りたいときに取ればそれでいい

「内閣人事局長表彰」平成30年3月19日(月)首相官邸にて

結論

- 休暇をデフォルト化、出勤をアウト方式化すると、休暇の文脈(個々の状況)に焦点が合い、強力なナッジが発生
- ナッジの力は、制度の枠内で、休み方改革から働き方改革に波及
- 岐阜・静岡の検証結果を踏まえ、各県情報通信部への横展開を組織的に検討

表彰

表彰状

静岡県情報通信部 職員

「内閣人事局長表彰」平成30年3月19日(月)首相官邸にて